

DEH-330

CD/チューナーメインユニット

取扱説明書

目次 4ページ

carrozzeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。



警告

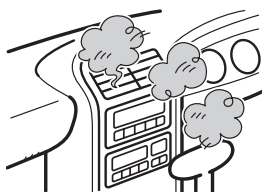
[異常時の処置]

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常がございましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

[使用方法]

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

目次

- 安全のために必ずお守りください** 2
安全上のご注意 3

はじめに

- 1 ご使用になる前に 6
2 各部のなまえ 7

ここだけでここだけ読めばすぐ使えます

- 1 基本的な操作 8
 ● 電源オン・オフ
 ● ソース切り換え
 ● 音量調節
2 CD、WMA／MP3／AAC／WAVの
 ふだんの操作 9
 ● CDを再生する
 ● フォルダーを選ぶ
 ● 曲を選ぶ
 ● 早送り・早戻し
 ● CDを取り出す
3 ラジオのふだんの操作 10
 ● バンドを選ぶ
 ● 選局

内蔵CD 内蔵CDでCDを聞く

- 1 繰り返し再生する 11
2 違う曲順で再生する 11
3 聞きたい曲やフォルダー
 などをさがす 12
4 再生を一時停止する 12
5 ディスク再生時の音質を調節する 13
6 10曲飛びに選曲する 13
7 タイトル表示を切り換える 14

ラジオ ラジオを聞く

- 1 複数の放送局を自動的に登録する 15
2 放送局を1局ずつ登録する 15
3 登録した放送局を呼び出す 15

音の調節 音を調節する

- 1 音質を手軽に調節する 16
2 オーディオメニューの切り換えかた 16
3 前後左右の音量バランスを調節する 16
4 イコライザーカーブを調節する 17
5 小さな音量でも聞きやすくする 17
6 各ソースの音量を揃える 18

便利な機能 便利な機能

- 1 交通情報を受信する 18
2 時計を合わせる 18
3 時計を表示する 19
4 外部機器（AUX）の音声を
 聞けるようにする 19

準備

取り付けの準備

- 1 接続・取り付け部品を確認する 20
- 2 取り付けの前に知ってほしいこと 20
 - 取り付け上のご注意
- 3 接続の前に知ってほしいこと 21
 - 接続上のご注意
 - バッテリー交換時のご注意

接続・取付 動作確認

接続・取り付けと動作確認

- 1 接続する 22
- 2 本体を取り付ける 24
- 3 動作を確認する 25

付録

付録

- 1 CDの正しい使いかた 26
 - 使用できるCDについて
 - 「Dual Disc」の再生について
 - 取り扱い上のご注意
 - 保管上のご注意
 - お手入れについて
 - CD再生の環境について
- 2 WMA／MP3／AAC／WAV
ファイルについて 28
 - フォルダーとWMA／MP3／
AAC／WAVファイルについて
 - WMAとは？
 - 再生できるWMAファイルに
ついて
 - MP3とは？
 - 再生できるMP3ファイルに
ついて
 - AACとは？
 - 再生できるAACファイルに
ついて
 - WAVとは？
 - 再生できるWAVファイルに
ついて
- 3 故障かな？と思ったら 31
- 4 こんなメッセージが表示されたら 32
- 5 保証書とアフターサービス 33
- 6 おもな仕様 34

WMAについて



外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。

WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって、開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。

詳細は、インターネット上のホームページ
<http://www.mp3licensing.com>
 をご覧ください。

- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

AACについて

AACデータは、作成に使用したアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。

本機では、Ver.7.2以前のiTunesを使用してエンコードされたAACファイルの再生に対応しています。

本機は、iTunesで作成された拡張子（.m4a）が付いているファイルを、AACファイルとして再生します。故障の原因となりますので、（.m4a）以外の拡張子の付いたAACファイルを再生しないでください。

iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。



メモ

- AACファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」は、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークの付いているCDは、「CD TEXT」です。（下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。）

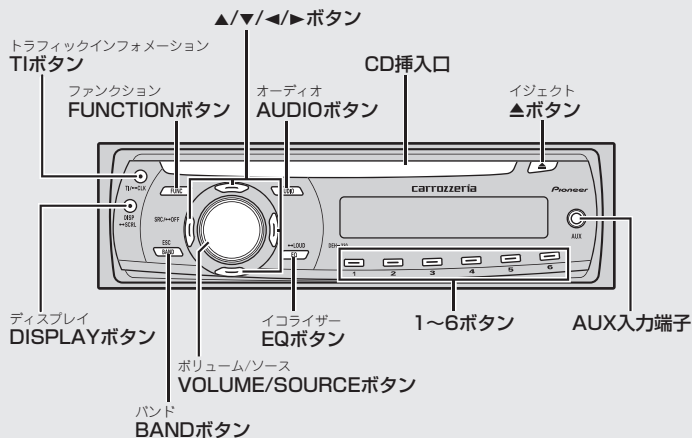


バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチをON（またはACC）にしないでください。バッテリーが上がる恐れがあります。

本体



ディスプレイ

メイン表示部

バンドと周波数(ラジオ)

再生経過時間(オーディオCD)

フォルダー番号、再生経過時間(WMA/MP3/AAC/WAV)

各種設定内容(ファンクション・オーディオ・初期設定)などを表示します。

トラック・チャンネルナンバーインジケータ
トラック(曲)番号や、プリセットチャンネル
番号を表示します。

曲数が100を超えたときは、左上の三角マ
ークが点灯します。



MP3/WMA/AAC インジケータ

MP3/WMA/AAC ファイルを再生し
ているときに、再生中の形式に対応し
たインジケータが点灯します。

ステレオインジケータ

ステレオ放送受信中に点灯します。

LOUD インジケータ

ラウドネスがONのときに点灯します。

RPT インジケータ

リピート再生時に点灯します。

ここだけで 1 基本的な操作

電源オン・オフ／ソース切り換え／音量調節

1 電源をONにする

SOURCEボタンを押す

本機の電源がONになります。

2 ソースを切り換える

SOURCEボタンを押す

SOURCEボタンを押すごとに次のように切り換わります。



ソースとは

- SOURCEボタンを押すと切り換わる、内蔵CDやラジオなどの音源のことです。

3 音量を調節する

VOLUMEを回す

右に回す：大きくするとき

左に回す：小さくするとき

- 約4秒間、音量が表示されます。

4 電源を切る

SOURCEボタンを1秒以上押す

本機の電源が切れます。

メモ

- 音量の調整範囲は0～62です。
- ディスクをCD挿入口に差し込んだときも、電源がONになります。
- ディスクがセットされていないときは、内蔵CDには切り換わりません。
- AUXは初期設定ではONに設定されています。使用しない場合はOFFに設定してください。
(E 便利な機能 ④ 19ページ)
- 本機の青リード線（アンテナコントロール）に車側のアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。
- CDをセットしたまま電源をOFFにすることもできます。
- 電源がOFFのときでも、EJECTボタンを押してCDを取り出すことができます。
- 時計を表示させている場合、電源をOFFにしても時計は表示されます。

CD、WMA/MP3/AAC/WAVの ふだんの操作

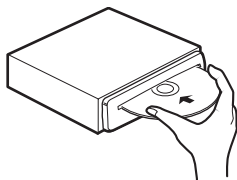
CDを再生する/フォルダーを選ぶ/曲を選ぶ/早送り・早戻し/CDを取り出す

画面表示例



1 ディスクを挿入口に 差し込む

再生が始まります



2 ▲または▼ボタンを押す

WMA/MP3/AAC/WAVの
場合、フォルダーが選べます

次のフォルダーを選ぶ：▲を押す

前のフォルダーを選ぶ：▼を押す

3 ◀または▶ボタンを押す

聞きたい曲を選ぶとき

次の曲を選ぶ：▶を押す

前の曲を選ぶ：◀を押す

早送り/早戻しをするとき

早送り：▶を長く押す

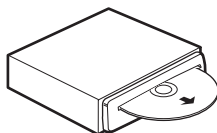
早戻し：◀を長く押す

4 他のソースに切り換える か、電源をオフにする

再生が終わります

5 EJECTボタンを押す

ディスクが出てきます



知っていると便利

- WMA/MP3/AAC/WAVの場合、BANDボタンを長く押すと、フォルダー01 (ROOT)に戻ります。ただし、フォルダー01 (ROOT)にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。
- ディスクをセットしたまま、電源をOFFにしたり他のソースに切り換えることができます。
- WMA/MP3/AAC/WAVファイルと音楽データが混在しているディスクの場合、再生を切り換えることができます。切り換えるときは、BANDボタンを押します。再生は、いちばん先頭の曲から始まります。



ご注意

- ディスクはタイトル面を上にして差し込みます。
- CD挿入口には、CD以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- ディスクを挿入すると、本機はディスクからファイル形式などの情報を読みとります。この間、画面にはFRMTREADと表示されます。
- 選曲方法をラフサーチに設定した場合は、10曲飛びに選曲されます。
- CDシングル (8cm CD) もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- WMA/MP3/AAC/WAVファイルを早送り/早戻しをしているときには、音声は出力されません。
- VBR (可変ビットレート) で録音されたWMA/MP3/AAC/WAVファイルを早送り/早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。
- 出てきたCDはすぐに取り出して保管してください。CD挿入口からディスクを出したまま走行すると危険です。
- EJECTボタンを押してCD再生をやめたときは、自動的に電源OFFになります。

ここだけで
すぐ使えます

3 ラジオのふだんの操作

バンドを選ぶ／選局

画面表示例

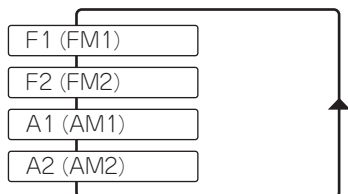


1 SOURCEボタンを押す

ソースがラジオになるまで押します

2 BANDボタンを押す

ボタンを押すごとに、バンドが次の順序で切り換わります



3 ◀または▶ボタンを押す

放送局を手動で選ぶとき（手動選局）

高い周波数の放送局を選ぶ：▶を押す

低い周波数の放送局を選ぶ：◀を押す

放送局を自動で選ぶとき（自動選局）

高い周波数の放送局を自動で選ぶ

：▶を長く押して離す

低い周波数の放送局を自動で選ぶ

：◀を長く押して離す

4 他のソースに切り換えるか、電源をオフにする

ラジオの受信が終わります



知っていると便利

- バンドごとに放送局を6局ずつ登録できます。
- ◀または▶ボタンを押している間、途中の放送局を飛ばすことができます。離れたところから自動選局を開始します。
- 電波の強い放送局を選局するには自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには手動選局をおすすめします。

繰り返し再生する

リピート

曲を繰り返し（リピート）再生できます。繰り返しの範囲は、今聞いている曲やディスク全体などから選べます。選べる範囲はディスクによって異なります。

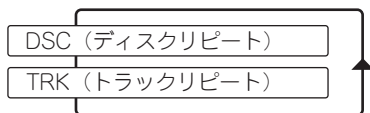
1 ソースを内蔵CDにして、FUNCTIONボタンを押す

RPTを選びます

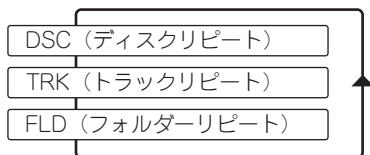
2 ◀または▶ボタンを押す

リピートプレイする範囲が選べます

■ CDを再生しているとき



■ WMA/MP3/AAC/WAVを再生しているとき



DSC：セットされているディスクを通して再生

TRK：再生中の曲を繰り返し再生

FLD：再生中のフォルダーを繰り返し再生

違う曲順で再生する

ランダム

曲を順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

1 ランダムプレイする範囲を選んでおく

ランダムプレイは、RPTで選んだ範囲で行われます

2 FUNCTIONボタンを押す

RDMを選びます

3 ▲ボタンを押す

ランダムプレイ設定がONになります

次の曲（フォルダー）から、ランダムに再生されます。

▼ボタンを押すとOFFになります。

4 BANDボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



ご注意

- 再生範囲がTRKのときにランダムプレイ設定をONにすると、再生範囲が次のように切り換わってランダムプレイが行われます。

・ CD：DSC

・ WMA/MP3/AAC/WAV：FLD

3 BANDボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



ご注意

- 再生範囲がFLDのときは、再生中のフォルダー内の曲（WMA/MP3/AAC/WAVファイル）だけが再生されます。サブフォルダー内の曲は再生されません。

内蔵CD
3

聞きたい曲やフォルダーなどをさがす

スキャン

曲やフォルダーのはじめの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます（スキャンプレイ）。聞きたい曲をさがすときに便利です。スキャンプレイの種類は、再生範囲切換で設定できます。

1 スキャンプレイする範囲を選んでおく

スキャンプレイは、RPTで選んだ範囲で行われます

2 FUNCTIONボタンを押す

SCANを選びます



スキャンプレイの種類と再生範囲

- CD再生時
（ディスクリピート時：トラックスキャン）
ディスク内の全曲を、約10秒ずつ再生します。
- WMA/MP3/AAC/WAV再生時
（フォルダーリピート時：トラックスキャン）
再生中のフォルダーの全曲を、約10秒ずつ再生します。
- WMA/MP3/AAC/WAV再生時
（ディスクリピート時：フォルダースキャン）
ディスク内の全フォルダーの1曲目だけを、約10秒ずつ再生します。

3 ▲ボタンを押す

スキャンプレイ設定がONになります

曲のはじめの約10秒間が次々に再生されます。

スキャンプレイを始めて約30秒たつと、ふだんの再生画面に自動で戻ります。

4 聞きたい曲が再生されたら、▼ボタンを押す

スキャンプレイ設定がOFFになります

- ふだんの再生画面に戻っていたら、まず手順2の操作でSCANを選びます。次に、▼ボタンを押してください。スキャンプレイ設定がOFFになります。

5 BANDボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



ご注意

- スキャンプレイを始めた曲（フォルダー）まで戻ると、スキャンプレイは解除されます。
- 再生範囲がTRK（トラックリピート）のときにスキャンプレイ設定をONにすると、再生範囲が次のように切り換わってスキャンプレイが行われます。
CD：DSC（ディスクリピート）
WMA/MP3/AAC/WAV
：FLD（フォルダーリピート）

内蔵CD
4

再生を一時停止する

ポーズ

曲の再生を一時停止できます。

1 ソースを内蔵CDにして、FUNCTIONボタンを押す

PAUSEを選びます

2 ▲ボタンを押す

再生が一時停止されます

▼ボタンを押すとOFFになります。

3 BANDボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

ディスク再生時の音質を調節する

COMP/BMX

音質を調節する機能として、COMPとBMXがあります。COMPはクラシックなど音量差の大きい曲に、BMXは圧縮された音楽データに対して効果的です。



COMPとは

- COMPは、「Compression（コンプレッション）」の略です。大きな音と小さな音の音量差（ダイナミックレンジ）を小さくします。



BMXとは

- BMXは、「Bit Metrix（ビット メトリックス）」の略です。音楽の残響音を補正し、自然な広がりを持った音質に改善します。

1

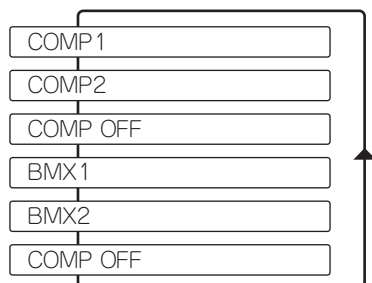
ソースを内蔵CDにして、FUNCTIONボタンを押す

COMP (BMX) を選びます

2

▲または▼ボタンを押す

コンプレッション設定の種類が選べます



10曲飛びに選曲する

FF/REV

10曲以上収録されているディスクまたはフォルダーの場合、10曲飛びに選曲できます。

1

ソースを内蔵CDにして、FUNCTIONボタンを押す

FF/REV (ROUGH) を選びます

2

▶ボタンを押す

ラフサーチ設定がROUGHに切り換わります

◀ボタンを押すと、早送り／早戻しをするFF/REVに切り換わります。

3

BANDボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

4

◀または▶ボタンを長く押す

10曲ごとに選曲できます

10曲前を選ぶとき：◀を長く押す

10曲先を選ぶとき：▶を長く押す



ご注意

- 曲数が10以下のディスクでラフサーチをすると、最初または最後の曲が選択されます。残りの曲数が10以下のときにラフサーチをした場合も同様です。

3

BANDボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



知っていると便利

- COMP/BMXの効果はいずれも、1より2のほうが大きくなります。

タイトル表示を切り換える

「CD TEXT」やWMA／MP3／AAC／WAVディスク再生中に、トラックタイトルやディスクタイトル、アーティスト名などを表示させることができます。また、隠れている文字をスクロール表示で見することもできます。



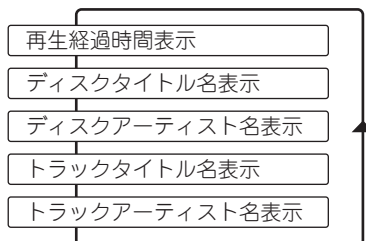
ご注意

- 本機の文字表示は、半角英数字のみに対応しています。

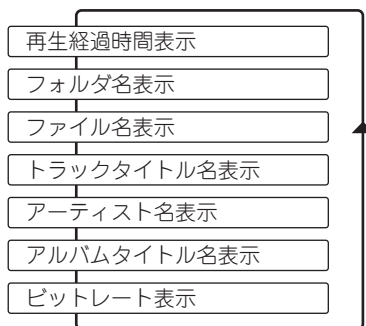
1 ソースを内蔵CDにして、DISPLAYボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります

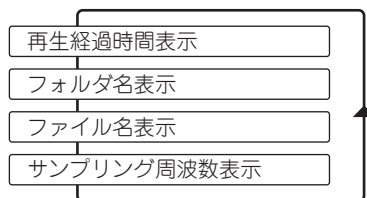
■ CD TEXTを再生しているとき



■ WMA／MP3／AACを再生しているとき



■ WAVを再生しているとき



知っていると便利

- 隠れている文字を表示させるには、DISPLAYボタンを長く押します。



ご注意

- タイトル名などが収録されていないディスクで表示を切り換えると、「[NO NAME]」などが表示されます。
- WMAファイルをエンコードしたWindows Media Playerのバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- MP3ファイルやAACファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。

複数の放送局を自動的に登録する

BSM

BSM機能を使うと、受信状態の良い放送局を自動でさがして登録できます。登録された放送局は、手軽に受信できます。



BSMとは

- BSMは、「Best Stations Memory（ベストステーションズメモリー）」の略です。

1 ソースをラジオにして、BANDボタンを押す

登録するバンドを選びます

- バンド1とバンド2を切り換えて使うことで、より多くの放送局を登録できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を登録しておきます。旅行先などで、どんな放送局があるか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと便利です。バンド1に登録した放送局を消さずに、バンド2でその地域の放送局を受信できます。

2 FUNCTIONボタンを押す

BSMを選びます

3 ▲ボタンを押す

BSMによる登録が始まります

登録が完了すると「BSM」の点滅が終わり、1の番号に登録された放送局を受信します。

▼ボタンを押すと、BSMの登録処理を途中でやめることができます。

4 BANDボタンを押す

ふだんの受信画面に戻ります



ご注意

- 受信状態の良い放送局が6局より少ないときは、前に登録した内容が残ることがあります。

放送局を1局ずつ登録する

プリセットメモリー

1～6のボタンを使って、よく聞く放送局を1局ずつ手動で登録できます（プリセットメモリー）。

登録した放送局は、手軽に受信できます。

1 ソースをラジオにして、BANDボタンを押す

登録するバンドを選びます

2 ◀または▶ボタンを押す

登録したい放送局を選びます

3 1～6ボタンの1つを長く押す

放送局が登録されます

登録動作中に押したボタンの番号（登録番号）が点滅します。

登録が完了すると登録番号の点滅が終わり、その放送局を受信します。

登録した放送局を呼び出す

プリセットチューニング

BSMやプリセットメモリーで登録した放送局を、手軽に受信できます。

1 ソースをラジオにして、BANDボタンを押す

放送局を登録したバンドを選びます

2 登録した放送局を受信する

■直接受信するとき

1～6ボタンの1つを押す

■順番に受信するとき

▲または▼ボタンを押す

音の調節

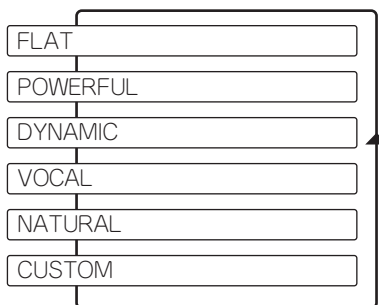
1

音質を手軽に調節する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選ぶだけで、音質を手軽に調節できます。イコライザーは、FLAT/POWERFUL/DYNAMIC/VOCAL/NATURAL/CUSTOMの6種類です。

1 EQボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序でイコライザーカーブが切り換わります



メモ

- CUSTOMには、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブが登録されます。
- “FLAT” カーブでは、イコライザーによる音の補正は行いません。イコライザーの効果を確認するときには使用すると便利です。

音の調節

2

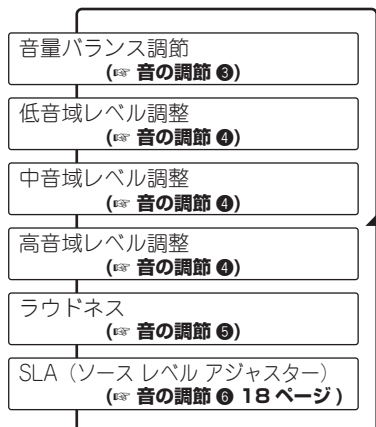
オーディオメニューの切り換えかた

「音量バランス調節」「ラウドネス」などの音質調整機能を使うときは、オーディオ調整メニューで操作します。

1

AUDIOボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で機能が切り換わります



メモ

- FMを聞いているときは、SLAには切り換わりません。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BANDボタンを押します。また、約30秒間、何も操作しなかったときは自動で戻ります。

音の調節

3

前後左右の音量
バランスを調節する
フェーダー/バランス

前後左右のスピーカーからの音量バランスを調節できます。より自然に聞こえるバランスに設定してください。

1

AUDIOボタンを押す

FAD/BAL (音量バランス調節メニュー) が表示されます

2 ▲または▼ボタンを押す

前後の音量バランス (FAD) を調節できます

前を強めるとき : ▲を押す
後ろを強めるとき : ▼を押す
前後のバランスは、F15～R15の範囲で調節できます。

3 ◀または▶ボタンを押す

左右の音量バランス (BAL) を調節できます

右を強めるとき : ▶を押す
左を強めるとき : ◀を押す
左右のバランスは、L15～R15の範囲で調節できます。

4 BANDボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

音の調節 4

イコライザーカーブを調節する

バス/ミッド/トレブル

あらかじめ用意されたイコライザーカーブに簡単な補正を加えることができます。これにより、よりお好みにあった音質を作り出すことができます。

設定したイコライザーカーブは、自動的に“CUSTOM”カーブに登録されます。

1 調節のもとになるイコライザーカーブを選ぶ

( 音の調節 ①)

2 AUDIOボタンを押す

BASS/MID/TREBLE (低音域/中音域/高音域調節メニュー) が表示されます

3 ▲または▼ボタンを押す

レベルを調節できます

レベルを大きくするとき : ▲を押す
レベルを小さくするとき : ▼を押す
レベルは+6～-6の範囲で調節できます。

4 手順2、3の操作を繰り返して、調節を行う

低音域 (BASS) / 中音域 (MID) / 高音域 (TREBLE) のすべての音域を調節します

5 BANDボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

音の調節 5 小さな音量でも聞きやすくする

ラウドネス

小さな音量で音楽を聞いていると、低音・高音が不足しているように感じることがあります。ラウドネスを使うと、この不足感を補って、音を聞きやすくすることができます。

1 AUDIOボタンを押す

LOUD (ラウドネスメニュー) が表示されます

2 ▲ボタンを押す

ラウドネス (LOUD) がONになります
▼ボタンを押すと、OFFになります。

3 ◀または▶ボタンを押す

ラウドネスの効果を選べます

効果を大きくするとき : ▶を押す (HI)
効果を小さくするとき : ◀を押す (LOW)

4 BANDボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

音の調節 6

各ソースの音量を揃える

SLA

ソースを切り換えたときに、ソースごとの音量が違うことがあります。SLAを使うと、FMの音量を基準にして各ソースの音量を揃えることができます。



SLAとは

- SLAは、「Source Level Adjuster（ソースレベルアジャスター）」の略です。

1 AUDIOボタンを押す

SLA（SLA調節メニュー）が表示されます



ご注意

- FMを聞いているときは、SLAには切り換わりません。

2 ▲または▼ボタンを押す

レベルを調節できます

レベルを大きくするとき : ▲を押す

レベルを小さくするとき : ▼を押す

レベルは+4～-4の範囲で調節できます。

3 BANDボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

便利な機能

1

交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

高速道路などで放送されている交通情報ラジオを、瞬時に受信できます。この機能は、電源OFFのときでも、どのソースからでも操作可能なので、情報を逃さず受信できます。

1 TIボタンを押す

交通情報を受信します

TIボタンをもう一度押すと、交通情報を受信する前の状態に戻ります。

2

◀または▶ボタンを押す

交通情報の周波数を切り換えます

1 620 kHzを選ぶとき : ◀を押す

1 629 kHzを選ぶとき : ▶を押す



メモ

- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定できます。

便利な機能

2

時計を合わせる

時計調整

時計を表示するために、時計を合わせておきます。

1 SOURCEボタンを長く押す

電源をOFFにします

2

SOURCEボタンを長く押す

初期設定モードが表示されます

3

FUNCTIONボタンを押す

時計調整を選びます

4

◀または▶ボタンを押す

時または分を選びます

押すごとに、時と分が切り換わります。

5

▲または▼ボタンを押す

時刻を合わせます

時刻を進めるとき : ▲を押す

時刻を戻すとき : ▼を押す

分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

6

BANDボタンを押す

電源OFFの状態に戻ります

便利な機能

3

時計を表示する

時計表示

本機のディスプレイに、時計を表示できます。時計は、本機の電源がONのときもOFFのときも表示させることができます。



時計表示について

- 本機に時計を表示させる前に、時計を合わせてください。(② 便利な機能 ②)

1

TIボタンを長く押す

時計が表示されます

画面表示例



もう一度TIボタンを長く押すと、時計表示が解除されます。



メモ

- 本機の電源がONのときは、時計表示中に他の操作をすると、時計表示は一度解除されます。この場合、25秒後に時計表示に戻ります。

便利な機能

4

外部機器 (AUX) の音声を聞けるようにする

AUX

本機にポータブル音楽再生機器や、VTRなどの外部機器を接続して、その音声を聞くことができます。



外部機器を接続するには

- 本機に外部機器を接続するには、本機前面にあるAUX入力端子に、3.5 mm φステレオミニジャックを差し込みます。

1

SOURCEボタンを長く押す

電源をOFFにします

2

SOURCEボタンを長く押す

初期設定モードが表示されます

3

FUNCTIONボタンを押す

AUXを選びます

4

▲ボタンを押す

外部機器設定がONになります

▼ボタンを押すと、OFFになります。

- AUX (外部機器) は初期設定ではONに設定されています。使用しない場合はOFFに設定してください。

5

BANDボタンを押す

電源OFFの状態に戻ります

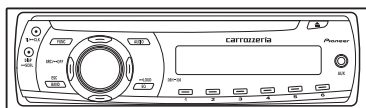
車への取り付けは、必ず本書と、別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外に取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

※別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

準備
1

接続・取り付け部品を確認する

本体関係



本体 × 1



トラスネジ (5 × 8 mm) × 4



皿ネジ (5 × 9 mm) × 4

コード関係



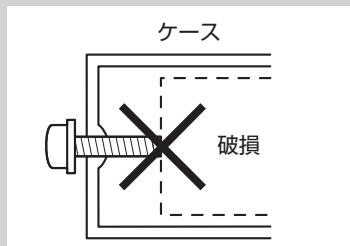
電源コード × 1

準備
2

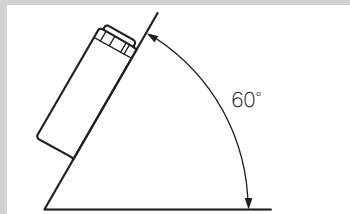
取り付けの前に 知ってほしいこと

取り付け上のご注意

- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



- 本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して60度以内の角度で取り付けてください。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。
- ダッシュボード下へ取り付ける場合は、Dサイズ用汎用取付ケースやアンダーダッシュ用取付キットをご使用ください。

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの（一）リード線を、共通にして接続しないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力50W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4Ωから8Ωのものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。
- ガラスアンテナ車は、アンテナブースターの電源を、必ず本機の青リード線（アンテナコントロール）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオがONにならないと、ブースターがONにならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

接続のポイント

ノイズ防止のために

- アンテナコードは、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

バッテリー交換時のご注意

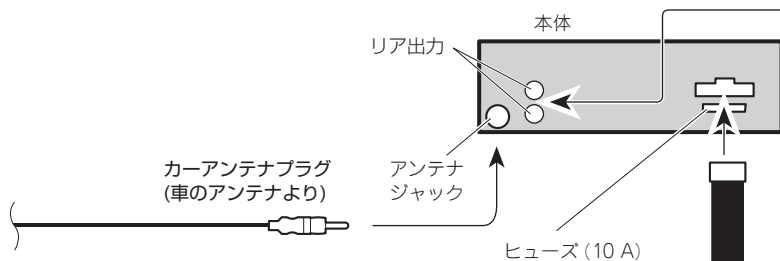
車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットメモリー、時計、オーディオ調整などの設定内容は消去されてしまいます。

ラジオのプリセットメモリー（ **ラジオ ② 15ページ**）や時計調整（ **便利な機能 ② 18ページ**）を再設定してください。

オーディオ調整の設定内容などは、メモしておくことをおすすめします。再設定の方法については、それぞれのページを参照してください。

接続する

——詳しくは買い上げの販売店にお問い合わせください——



注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

アンテナコントロール

アンテナをコントロールするために使用します。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)

下記以外の場合は、何も接続しないでください。

- オートアンテナ車の場合：
車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。
- ルーフアンテナ車やガラスアンテナ車などの場合：
車側のアンテナプースターの電源入力端子に接続してください。

アース

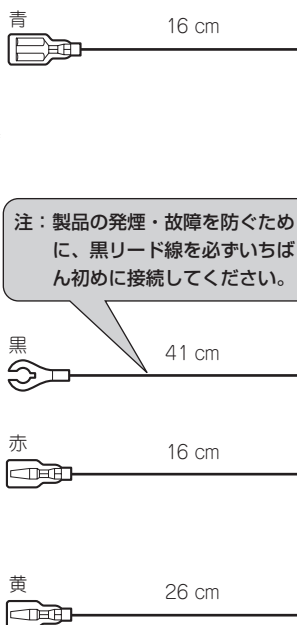
車のボディの金属部に確実に接続してください。

アクセサリ電源

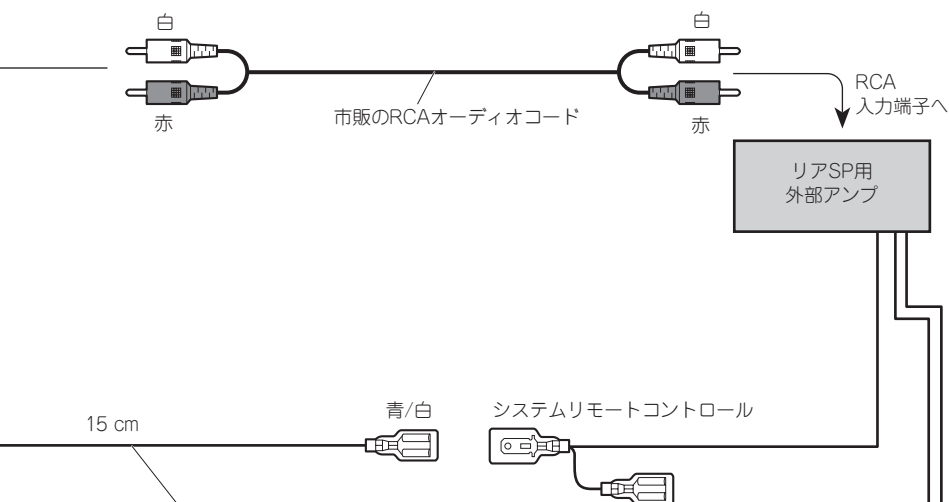
車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

+バッテリー電源

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

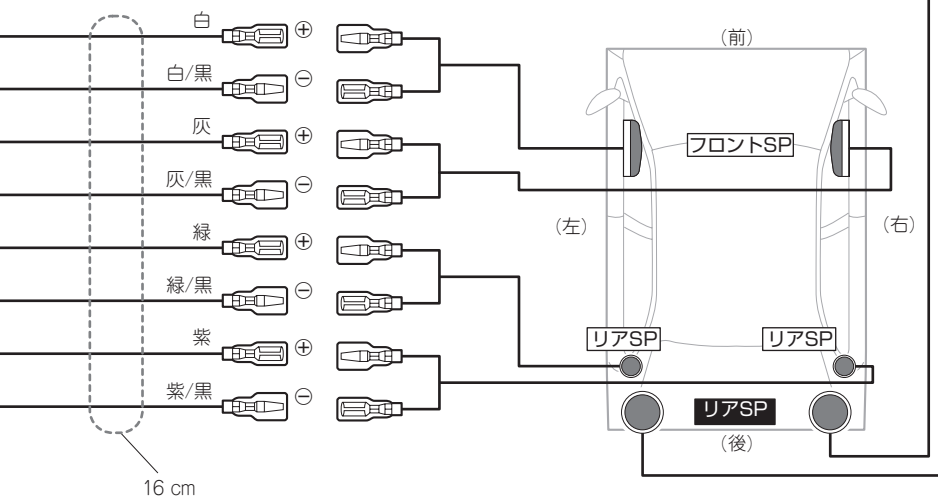


注：赤、黄リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。



システムリモートコントロール

外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。
(本機がONになるとコントロール信号が出力されます。)
外部アンプのシステムリモートコントロールに接続してくだ
さい。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)



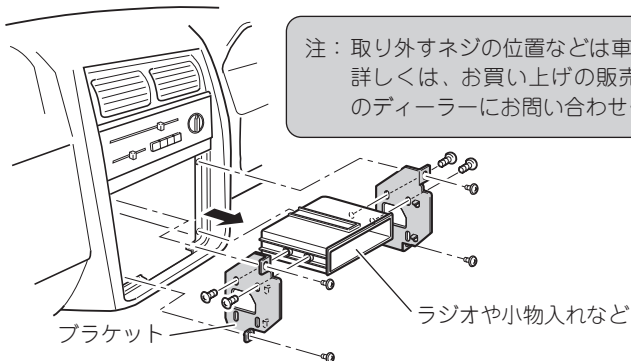
注：スピーカーを接続しないスピーカーリード線
には、何も接続しないでください。

本体を取り付ける

取り付け例（トヨタ車、日産車への取り付け）

1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



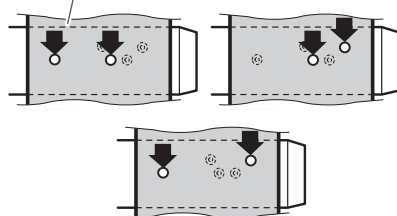
注：取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

2 ネジ止めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

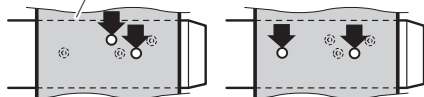
■トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット



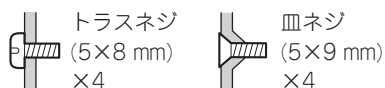
■日産車の場合

日産車ブラケット

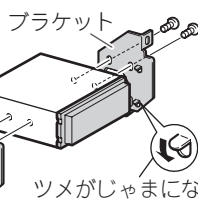


3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ止めして、元通り車に取り付けます。



ブラケットのネジ穴の形状に合わせてネジを選びます。



ツメがじゃまになるときは、折り曲げます。

動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する



確認

- 接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

2 車のエンジンをかける



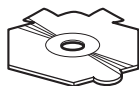
3 本機の動作を確認する

使用できるCDについて

- 下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式 デジタル オーディオ ディスク）をご使用ください。



- 本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証及び性能保証は致しかねます。
- ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



- 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。（詳細は、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。）
- 直射日光や高温など、車内での保管状況により、CD-R/CD-RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- CD-R/CD-RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。（音楽データ（CD-DA）再生時）

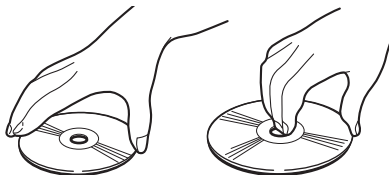
- ファイナライズされていないCD-R/CD-RWディスクには対応していません。
- CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

取り扱い上のご注意

- CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。

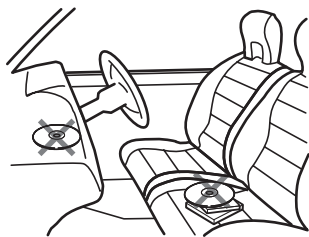


- CDにキズを付けないでください。
- CDにシールなどを貼り付けないでください。



保管上のご注意

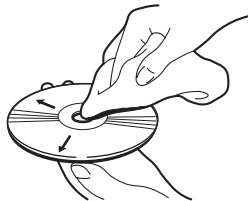
- 直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



- CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

- CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。

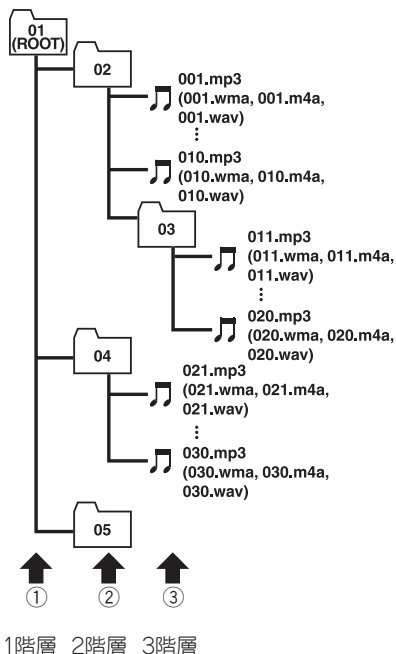


CD再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。
このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

フォルダーとWMA/MP3/AAC/WAVファイルについて

- WMA/MP3/AAC/WAVファイルを収録したCD-R/CD-RW/CD-ROMのイメージは下図のようになります。



- 本機はWMA/MP3/AAC/WAVファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット (Joliet、Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。
- m3uのプレイリストには対応していません。

- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.wma、.mp3、.m4a、.wav) を含めて半角で64文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は半角で64文字までです。(全角文字表示に対応している製品では、半角で64文字、全角で32文字まで表示できます。)
- 拡張フォーマット (Romeo) に準拠して記録されたファイルの場合、半角で先頭から64文字までの表示に対応しています。(全角文字表示に対応している製品では、半角で64文字、全角で32文字まで表示できます。)
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。
- 曲間 (トラック間) にブランクがないCDを、WMA/MP3/AAC/WAVファイルとしてCD-R/CD-RW/CD-ROMに記録して再生した場合、曲間が音飛びしたように聞こえます。



メモ

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CD ディスクに、WMA/MP3/AAC/WAVファイルと音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、WMA/MP3/AAC/WAVファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えることができます (※ **ここだけで② 9ページ**)。WMA/MP3/AAC/WAVファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えた場合、再生は、いちばん先頭の曲から始まります。
- WMA/MP3/AAC/WAVファイルを含まないフォルダーは認識しません。(フォルダー番号を表示せず、スキップします。)
- 8階層までのWMA/MP3/AAC/WAVファイルの再生に対応しています。ただし、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が99個まで再生可能です。

WMAとは？

- 「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver. 7以降を使用してエンコードすることができます。



ご注意

- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたWindows Media Playerのバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 画像データを含むWMAファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

再生できるWMAファイルについて



ご注意

- WMAファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wma)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wma)が付いているファイルをWMAファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMAファイル以外には拡張子(.wma)を付けしないでください。
- 本機では、Windows Media Player を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。
- 再生可能なWMAファイルのサンプリング周波数は32/44.1/48 kHzです。
- 一般的にWMAファイルは、ビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、CBR（固定ビットレート）では48kbps～320kbps、VBR（可変ビットレート）では48kbps～384kbpsのビットレートで記録されたWMAファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

- デジタル著作権保護（DRM）で保護されたファイルを再生したときは、“SKIPPED”と表示され、そのファイルの再生がスキップされます。
- ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護（DRM）で保護されている場合は、“PROTECT”と表示され、そのディスクは再生できません。
- この製品は、下記の形式には対応していません。
 - ・ Windows Media Audio 9 Professional（5.1ch）
 - ・ Windows Media Audio 9 Lossless（可逆圧縮）
 - ・ Windows Media Audio 9 Voice

MP3とは？

- 「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるMP3ファイルについて



ご注意

- MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けしないでください。
- ID3 tagのVer. 1.0/1.1/2.2/2.3/2.4のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tagのVer. 1.XとVer. 2.Xが混在している場合は、Ver. 2.Xが優先されます。
- サンプリング周波数が32/44.1/48 kHzのMP3ファイルを再生する場合のみ、エンファシスに対応します。（なお、再生可能なサンプリング周波数は16 kHz～48 kHzです。）

●一般的にMP3ファイルは、ビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、8kbps～320kbpsのビットレートで記録されたMP3ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbps以上のビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

AACとは？

●「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるAACファイルについて



ご注意

- AACファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.m4a)を付けてください。
- 本機では、Ver. 7.2以前のiTunesを使用してエンコードされたAACファイルの再生に対応していません。
- 本機は、iTunesで作成された拡張子(.m4a)が付いているファイルをAACファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、AACファイル以外には拡張子(.m4a)を付けしないでください。
- 画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 再生可能なAACファイルのサンプリング周波数は、11.025 kHz～48 kHzです。
- 一般的にAACファイルは、ステレオビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、16kbps～320kbpsのステレオビットレートで記録されたAACファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ大きいステレオビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

● iTunesミュージックストアで購入された楽曲(.m4p)は、CD-R/CD-RWに記録して再生することはできません。

● この製品は、下記の形式には対応していません。

・ Apple ロスレス・エンコーダ

WAVとは？

● 「Waveform」の略で、Windows®での標準音声フォーマットです。

再生できるWAVファイルについて



ご注意

- WAVファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wav)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wav)が付いているファイルをWAVファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WAVファイル以外には拡張子(.wav)を付けしないでください。
- 本機は、LPCM形式およびMS ADPCM形式でエンコードされたWAVファイルの再生に対応しています。
- 本機は、LPCM形式では16 kHz～48 kHz、MS ADPCM形式では22.05 kHz～44.1 kHzのサンプリング周波数で記録されたWAVファイルの再生に対応しています。
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。
- 一般的にWAVファイルは、量子化ビット数が大きいほど音質は良くなります。本機は、LPCMでは8/16 bit、MS ADPCMでは4 bitの量子化ビット数で記録されたWAVファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ大きい量子化ビット数で記録されたディスクの使用を推奨します。

故障かな？と思ったら

故障かな？と 思ったら

修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。



それでも 直らないときは

「保証書とアフターサービ
ス」をお読みになり、修
理を依頼してください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう 一度確認してください。 車両のバッテリーのマイナス端子を外して、 1分後再接続してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒュー ズと同じ容量のものと交換してください。
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を調節してください。 (※ ここだけで ① 8ページ)
	前後の音量バランスの調節が 適切でない。	正しく調節してください。 (※ 音の調節 ③ 16ページ)
前または後ろのスピーカー から音が出ない。	前後の音量バランスの調節が 適切でない。	正しく調節してください。 (※ 音の調節 ③ 16ページ)
左または右のスピーカーか ら音が出ない。	左右の音量バランスの調節が 適切でない。	正しく調節してください。 (※ 音の調節 ③ 16ページ)

ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、“ジー ジー、ザーザー”という 雑音が多い。	放送局の周波数が合ってい ない。	周波数を正しく合わせてください。 (※ ここだけで ⑩ 10ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (※ ここだけで ⑩ 10ページ)
	周りに障害物があるなど、受 信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (※ ここだけで ⑩ 10ページ)

故障かな？と思ったら (つづき)

CD、WMA/MP3/AAC/WAV

症状	原因	処置
CD再生中、大きな雑音が出る。	CDに大きなキズやそりがある。	CDを交換してください。 良くなれば、CDの不良です。
CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (付録 ① 27ページ)
	CDに曇りや汚れがついている。	CDの曇りや汚れをふき取ってください。 (付録 ① 27ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。

こんなメッセージが表示されたら

CDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-17」 「ERROR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「ERROR-10」 「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-15」 「ERROR-17」 「ERROR-30」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「ERROR-23」	再生できないフォーマットのCD-ROMを挿入した。	CDを交換してください。
「NO AUDIO」	何も録音されていないCD-ROMを挿入した。	WMA/MP3/AAC/WAVファイルの記録されているCD-ROMと交換してください。
「PROTECT」	ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護 (DRM) で保護されている。	CDを交換してください。
「SKIPPED」	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたWMAファイルを再生した。	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されていないファイルを再生してください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることを確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよく読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 共通部

使用電源：

DC 14.4 V (10.8 V～15.1 V 使用可能)

アース方式：

マイナスアース方式

最大消費電流：

10.0 A

外形寸法：

(取付寸法)：

178 (W) × 50 (H) × 162 (D) mm

(ノーズ寸法)：

170(W) × 46 (H) × 15 (D) mm

質量：

1.2 kg (コード含まず)

■ アンプ/オーディオ部

最大出力：

50W × 4

定格出力：

22W × 4

(50 Hz～15 000 Hz、5 % THD)

負荷インピーダンス：

4 Ω (4 Ω～8 Ω 使用可能)

ブリアウト最大出力レベル：

2.2 V

出力インピーダンス：

1 kΩ

トーンコントロール：

(バス)

周波数：100 Hz

ゲイン：±13 dB

(ミッド)

周波数：1 kHz

ゲイン：±12 dB

(トレブル)：

周波数：10 kHz

ゲイン：±12 dB

■ CDプレーヤー部

形式：

コンパクトディスクオーディオシステム

使用ディスク：

コンパクトディスク

信号フォーマット：

サンプリング周波数：

44.1 kHz

量子化ビット数：

16ビット直線

周波数特性：

5 Hz～20 000 Hz (±1 dB)

S/N比：

94 dB (1 kHz)

(IHF-Aネットワーク)

ダイナミックレンジ：

92 dB (1 kHz)

チャンネル数：

2 (ステレオ)

WMAデコーディングフォーマット：

Ver. 7、7.1、8、9、10、11

(2 ch audio) (Windows Media Player)

MP3デコーディングフォーマット：

MPEG-1 & 2 AUDIO LAYER-3

AACデコーディングフォーマット：

MPEG-4 AAC

(iTunesでエンコードされたもののみ)

WAVシグナルフォーマット：

Linear-PCM、MS ADPCM

■ FMチューナー部

受信周波数帯域：

76.0 MHz～90.0 MHz

実用感度：

8 dBf (0.7 μV/75 Ω、

モノラル、S/N：30 dB)

S/N：

75 dB (IHF-A ネットワーク)

高調波歪率：

0.3 % (65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)、

0.1 % (65 dBf入力、1 kHz、モノラル)

周波数特性：

30 Hz～15 000 Hz (±3 dB)

ステレオセパレーション：

45 dB (65 dBf入力、1 kHz)

■ AMチューナー部

受信周波数帯域：
522 kHz～1 629 kHz (9 kHz)
実用感度：
18 μV (S/N：20 dB)
S/N：
65 dB (IHF-A ネットワーク)

■ 付属品

コードユニット	：1
取付ネジ類	：1式
取扱説明書	：1
安全上のご注意	：1
保証書	：1
ご相談窓口・修理窓口のご案内	：1

 メモ

- 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

● カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話 ☎ **0070-800-8181-11**

【一般電話】 **03-5496-8016**

ファックス **03-3490-5718**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付時間 月曜～金曜 9：30～19：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話 ☎ **0120-5-81028**

【一般電話】 **03-5496-2023**

ファックス ☎ **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 【一般電話】 **098-879-1910**

ファックス **098-879-1352**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話 ☎ **0120-5-81095**

【一般電話】 **0538-43-1161**

ファックス ☎ **0120-5-81096**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2007

< KMMZX > < 07G00000 > < YRA5044-A/S >